

令和3年度

函館白百合学園中学校

一般入学試験問題  
(後期日程)

国語

令和3年2月7日(日)実施

注意事項

1. 試験時間は45分です。
2. 問題は□から□まで、2ページから11ページまであります。
3. 答えはすべて別紙の解答用紙に記入し、解答用紙だけ提出しなさい。

□ 次の問いに答えなさい。

問 1 次の――線のカタカナを漢字に直しなさい。

- ・ ① ジンタイには② ムガイである。
- ・ ③ 短ペン小説の内容を④ ヨウヤクする。
- ・ ⑤ ネンイりに⑥ ジュンビする。

問 2 次の――線のカタカナを漢字と送りがなに直しなさい。

- ① 山がツラナル。
- ② ヤサシイ問題が多い試験。
- ③ 商業でサカエタ町。

問 3 次の漢字の読みをひらがなで答えなさい。

- ① 果物を買いに行く。
- ② よく肥えた土地。
- ③ 雑貨店に入る。
- ④ 小包が届く。
- ⑤ 白米には炭水化物が多くふくまれる。

問 4 次の熟語の中で、――線をつけた漢字の読みが一つだけちがうものはどれか。ア～エからそれぞれ選びなさい。

- ① ア 海辺      イ 周辺      ウ 岸辺      エ 山辺
- ② ア 漁村      イ 不漁      ウ 禁漁      エ 漁師

問5 次の漢字の中で、総画数が十二画の漢字を、ア～オから二つ選びなさい。

ア 問      イ 飲      ウ 組      エ 腹      オ 雲

問6 次の漢字の読みを、それぞれ二通り答えなさい。

① 墓                      ② 幹

問7 次の部首をもつ漢字を、ア～カからそれぞれ選びなさい。

① ふるとり                      ② えんによう

ア 遠              イ 顔              ウ 雑              エ 園              オ 建              カ 利

問8 次の□の中に同じ漢字一字を入れて、下の意味になる四字熟語を完成させなさい。

① □長□短                      「意味・・・長所もあるが短所もあること。」

② □発□中                      「意味・・・矢や弾丸だんがんがすべて命中すること。」

③ 右□左□                      「意味・・・あちこちへ動き回ること。」

問9 次の意味のことわざになるように正しい方を選び、記号で答えなさい。

① どれも同じくらいで、特にすぐれたものがないことのとたとえ。

「ア どんぐり イ ねこ」の背比せいくらべ。

② 自分の利益にならないのに、他人のために危険をおかすことのとたとえ。

火中からゆうの「ア かき イ くり」を拾う。

③ 見て美しい物より、実際の利益がある方がよいというたとえ。

花より「ア すし イ だんご」。

□ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

幼い子供を①カンサツしていると、1に興味を②シメず1タイシヨウが変化する。これで遊んでいたかと思えば、もう飽きてしまい、今はそちらに③ムチュウ、そろそろあちらへ目を向けている、といった忙しさである。素直な好奇心というのか、それとも、好奇心に素直というのか、本当の「自由」が体現されているとア感じられる。

しかし、そんな子供を大人は\*窘めるのである。「もう違うことをしているの?」「このまえのあれはどうしたの?」「せっかく買ってあげたのに、もう遊ばないの?」「なにをやっても2( )日坊主だ」「もう少し落ち着いて、じっくりと一つのことに取り組みなさい」どうだろうか? 言われたことはないだろうか。

実は、僕がそういう飽きっぽい子供だった。親からも先生からも、いつもそう言われ続けてきた。だから、自分で自分に対して同様のことを言い聞かせるようになった。少しでもイ長く続けられるように④クフウをして自分を⑤ミチビいた。一つのことを最後まで飽きずに成し遂げられると、自分で自分を褒めてやりたくなる。やり遂げたものに対してではなく、飽きなかった自分に対してだ。それくらい、基本的に飽き性なのだ。それは今でも変わっていない。

たいていの場合、新しいことにチャレンジし始めた頃が一番面白い。初めの一步が最も2するものだ。もちろん、この段ウ階には苦労も危険も多い。失敗も多々あるだろう。ある程度熟練して、苦労しなくてもできるようになり、技術が向上し、失敗も少なくなり、自分の思うようにできるようになったときには、本当に「自由になったなあ」と感じる。けれども何故か、初心の頃の苦労や失敗が懐かしい、そのときの自分を褒めてやりたい気持ちがずっと残っている。

3 目移りをして、つぎつぎに違うものに手を出していると、一つとして満足に成し遂げられない事態に陥るだろう。日本では昔から「一芸に秀でる」ことが人の理想といわれてきた。これが「道を3究める」という意味だ。つまり、好奇心に誘われるまま、自由に4している、どの道も中途半端になり、奥へと進み入ることができない。こういう状態を、「4( )取らず」とか、「器用貧乏」などと\*揶揄する。たしかに、そういった面は否定できない。

しかしそれでも、無理に一本の道に拘るのは、自分を縛ることにばかりはかわりない。続けることで得られるものと、

エ別の道へ移ることのでられるものを天秤てんびんにかければ良い。そのとき、他者からどう⑥ヒョウカされるのかではなく、自分を見つめ、自分の人生における⑦セツケイとして、選択せんたくをすべきだろう。あくまでも、最終的には自由なのである。5楽しさを求める人生ならば、6楽しい方を選べば良い。満足を求める人生ならば、満足できそうな道を進む。人生セツケイに⑧テらし合わせて判断をすることが一番良いと僕は思う。もちろん、それには、自分の人生について、ある程度の方針がなければならぬ。難しく考えることはない。方針など、いつ変更へんこうしても良い。これもまた、自由なのである。

（「自由をつくる 自在に生きる」 森 博嗣）

※出題の都合上、漢字などの表記を改めました。

\* 窺める・・・よくない点に対して注意をあたえる。  
\* 揶揄する・・・相手をばかにしてからかう。

問1 〰 線①〰⑧のカタカナを漢字に直しなさい。

問2 〰 線1「タイショウ」を漢字に直しなさい。また、それと同じものを、ア～エから選びなさい。

- ア 左右タイショウのデザインが美しい。  
イ 小学生をタイショウとした調査をする。  
ウ AさんとBさんはタイショウ的な考えを持っている。  
エ バスケットボールの試合で相手チームにタイショウした。

問3 〰 線1〰4に入る言葉の組み合わせとしてもっとも適当なものを、ア～エから選びなさい。

- |   |        |   |        |   |        |   |        |   |
|---|--------|---|--------|---|--------|---|--------|---|
| ア | つぎつぎ   | 1 | わくわく   | 2 | きよろきよろ | 3 | きよろきよろ | 4 |
| イ | きよろきよろ |   | きよろきよろ |   | きよろきよろ |   | きよろきよろ |   |
| ウ | きよろきよろ |   | きよろきよろ |   | きよろきよろ |   | きよろきよろ |   |
| エ | わくわく   |   | つぎつぎ   |   | きよろきよろ |   | きよろきよろ |   |



問7 — 線4 「( ) 取らず」について

- ① ( ) に入る言葉を、ア～エから選びなさい。
- ア 雀すずめ 鳥からす      イ 犬 猿さる      ウ 海老えび 鯛たい      エ 虻あぶ 蜂はち

② ほぼ同じ意味となる言葉と、反対の意味となる言葉の (ア) (イ) に入る漢数字を答えなさい。

同じ意味・・・ (ア) 兎と追うものは (イ) 兎をも得ず

反対の意味・・・ (イ) 石 (ア) 鳥

問8 — 線5 「楽しさ」・6 「楽しい」とあるが、次のA・Bの言葉の関係から ( ) に入る適当な言葉を答えなさい。

|     |   |     |     |
|-----|---|-----|-----|
|     | A |     | B   |
| 楽しさ |   | 楽しい |     |
| 答え  |   | 答える |     |
| 話   |   | ( ) | ( ) |

三 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

自由というのは、「自分の思いどおりになること」である。自由であるためには、まず「思う」ことがなければならぬ。次に、その思いのとおりにより「行動」あるいは「思考」すること、この結果として「思ったとおりにできた」という満足を感じる。その感覚が「自由」なのだ。

〈中略〉

腹が空いたら好きなものを食べる。これは「自由」な状態だろうか？

普通は、1これこそ「自由の中の自由」「自由の代表格」だ、と認識されているふしがある。現に、「俺は好きなものさえ食べていられれば、もうそれだけで幸せだ」と\*豪語する人もいる。まさに、食べるために生まれてきた、といわんばかりである。なんともまあ、動物的な感覚だと微笑ましい。もちろん、食べるといつてもいろいろな条件がある。最低限の栄養補給としての食事から、趣味的なグルメのレベルまでさまざまだ。\*一概に、食べることが動物的だとはいえないかもしれない。ここで書いているのは、かなり一般的、平均的な食事のことだ。

食欲のほかにも基本的な欲求がある。寝たいときに眠り、働かなくても良いなら、一日ごろごろとなにもしないで行きたい。そういう状態が「自由」だと思いつく人はわりと多いのではないか。

「誰からも文句を言われない状態」という条件も重要だと思う。普通は、なにもしないでごろごろしていたら、誰かから注意を受けるからだ。それくらい、人から文句を言われ続けている人生、というのが多くの人が経験する現実なのかもしれない。どういうわけか、ように、人間は成長の過程でプログラムされる。これは、もちろん「支配」である。

少し考えてみればわかることだが、腹が空いたというのは、肉体的な欲求であり、つまり、食欲は躰による「支配」なのである。休みたい、寝たい、というのも同様だ。躰が頭脳に要求している。頭ではもっとなりたいことがあるのに、躰がいうことをきかない、そういう不自由な状況と考えることができる。

健康であることは、もの凄く感謝すべき幸せの一要因であることはまちがいない。病気するときには、自分の思うように行動できなくなる（ときには、思考もままならない）。誰もが「不自由」を感じるのが不健康である。

これと同様に、空腹や睡眠も、やはり、躰による支配なのだ。もつとやりたいこと、やるべきことがあるのに、人間は生きていくために食べなければならぬし、寝なければならぬ。作業の効率は落ちるが、死んでは元も子

もないから、しかたがない。躰は、この要求をあたかも「したいこと」のように頭脳に訴え、これが「肉体的欲求」となる。思考によってみちびかれた「自分がやりたいこと」とは2発信源が異なる。違っていることがご理解いただけるだろうか。

このような「3躰による支配」を、悪いことだと主張しているのではない。躰の欲求に応えることはとても大切だし（まっこうから拒否したら余計に不健康になる）、ときには第一優先になる。4生きていくかぎり逃れることができないのは紛れもない事実である。

ただし、一言だけつけ加えるなら、この「健康」が生きる目的になるという発想は矛盾しているだろう。したがって、健康がすなわち自由ではない。健康であることが人生の喜びだというのは、僕は錯覚だと思う。それが真実ならば、生まれながらに不健康な人、自分に責任はないのに病気になった人、事故に遭って健康を奪われた人には、もう5□□の□□はない、ということになってしまう。

健康は、自由を得るための一手段ではある。また、「健康」の定義は人それぞれで違うし、同じ個人でも年齢や状況によって「健康」は変化する。誰だって、歳をとれば、若くて元気な状態には戻れない。それを不健康というわけではない。

生きていく以上、自分の躰の\*コンディションは、背負わなければならない荷物である。捨てるわけにはいかないし、交換することもできない。6他者と比べて、自分の荷物が重いといくら嘆いても、それで軽くなるわけでもない。（中略）自由というのは、その人が歩きださなければ、絶対に得られないものだと思う。

（「自由をつくる 自在に生きる」 森 博嗣）

※出題の都合上、漢字などの表記を改めました。

\*豪語・・・・・・・・・・いかにも自信ありげにいうこと。

\*一概に〜えない・・・・・・・・すべてがそういうわけではない。

\*コンディション・・・・・・・・（体などの）調子や状態。

問1 ― 線1 「これ」が指し示すものを、二十字程度で答えなさい。

問2  に入るものとしてもっとも適当なものを、ア～エから選びなさい。

- ア 文句を言われてもまったく平気である
- イ 文句を言われると気分が悪くなる
- ウ 文句を言われるとつい言いなりになる
- エ 文句を言われても絶対に筋は曲げない

問3 ― 線2 「発信源が異なる」とあるが、これについて説明した次の文章の（ ）に入る言葉を本文中から書きぬきなさい。  
ただし、指定の字数で答えること。

「自分がやりたいこと」の発信源は（ **ア** 二字 ）にあるのに対して、食欲などの発信源は（ **イ** 一字 ）である。  
文章の最初にあるように、真に（ **ウ** 二字 ）であるためには、まず、「思う」こと、（ **ア** ）がなければならぬ。

問4 ― 線3 「躰による支配」についてまとめた次の文の（ ）に入る言葉を、本文中から三十字以内でさがし、最初と最後の三十字を書きぬきなさい。

（ 三十字以内 ） ような不自由な状況。

問5 ― 線4 「生きていくかぎり逃れることができない」とあるが、何から「逃れることができない」のか。本文中から十字で書きぬきなさい。

問6 ― 線5 「□□の□□」は本文中の五字の言葉である。□は一字として、本文中から書きぬきなさい。

問7 ― 線6 は何をたとえているか、わかりやすく説明しなさい。



国語

解答用紙

|      |  |
|------|--|
| 受験番号 |  |
| 名前   |  |

一

問 1

①  ジンタイ

②  ヲガイ

③ 短  ペン

④  ヲウヤク

⑤  ホンイ

⑥  ションゴ

問 2

①

②

③

問 3

①

②

③

④

⑤

問 4

①

②

問 5

①

②

問 6

①

②

問 7

①

②

問 8

①

②

③

問 9

①

②

③

二

問 1

①  カンサン

②  シメ

③  ヲチニル

④  タコウ

⑤  ヲキコ

⑥  ヒヨウカ

⑦  セツケイ

⑧  テ

⑨  らし

問 2

①

②

③

問 3

①

問 4

①

問 5

①

②

③

問 6

①  める

②

③

④

問 7

①

② ア

イ

問 8

三

問 1

問 2

問 3

ア

イ

ウ

問 4

エ

問 5

問 6

①

問 7

国語

解答用紙

|      |  |
|------|--|
| 受験番号 |  |
| 名前   |  |

|  |
|--|
|  |
|--|

一

問 1 ① 人体 ジンタイ      ② 無害 ムガイ      ③ 短編 ベン      ④ 要約 ヨウヤク

⑤ 念入 ネンイ      ⑥ 準備 ジュンビ

問 2 ① 連なる      ② 易しい      ③ 栄えた

問 3 ① くだもの      ② こ      ③ ぞつか

④ こつつみ      ⑤ たんすいかぶつ

問 4 ① イ      ② ア      問 5 イ      問 6 ① はか      ② みき      かん

問 7 ① ウ      ② オ      各 ①

問 8 ① 一      ② 百      ③ 往      問 9 ① ア      ② イ      ③ イ

30

二

問 1 ① 観察 カンサツ      ② 示 シ      ③ 夢中 ムチュウ      ④ 工夫 クワフ

⑤ 導 ミチビ      ⑥ 評価 ヒョウカ      ⑦ 設計 セツケイ      ⑧ 照 テ      各 ①

問 2 対象      ① イ      問 3 ア      問 4 ウ      ②

問 5 ① 三      ② 飽きっぽい      ③ ウ      ②

問 6 ① きわめる      ② ア      ③ イ      ④ うかんむり      ②

問 7 ① エ      ② ア      ③ ニ      ④ 一      問 8 話す      ②

35

三

問 1 腹が空いたら好きなものを食べるということ。      ⑤

問 2 イ      ④

問 3 ア 思考      ③      イ 躰      ③      ウ 自由      ③

問 4 頭ではくかない      ④

問 5 躰の欲求に応えること      ④      問 6 人生の喜び      ②

問 7 他の人より不健康な状態。      ⑤

35